

基本構想（案）新旧対照表

頁	旧	新
6	<p>第1章 将来ビジョン</p> <p>3 まちづくりの目標</p> <p>(6) 持続可能な行財政運営を進めるまち</p> <p>限られた経営資源を有効に活用して、社会環境の変化に伴って<u>複雑・多様化</u>する社会ニーズに対応するとともに、世代間の負担の公平性にも考慮しつつ、可能な限り次世代に負担を残すことのない、将来にわたって持続可能な行財政運営を進めます。</p>	<p>第1章 将来ビジョン</p> <p>3 まちづくりの目標</p> <p>(6) 持続可能な行財政運営を進めるまち</p> <p>限られた経営資源を有効に活用して、社会環境の変化に伴って<u>多様化・複雑化</u>する社会ニーズに対応するとともに、世代間の負担の公平性にも考慮しつつ、可能な限り次世代に負担を残すことのない、将来にわたって持続可能な行財政運営を進めます。</p>
8	<p>第2章 まちづくりの推進</p> <p>2 行政経営の基本方針</p> <p>(1) 持続可能な社会を支える行政経営</p> <p>人口減少・少子高齢化の進行、社会保障費の増加、公共施設の老朽化、厳しい財政状況、多発化する自然災害など、これまでの様々なシステムの持続可能性を大きく揺るがす変化が本市を取り巻いています。こうした環境変化に伴って<u>複雑・多様化</u>する社会ニーズに対応するため、分野間の連携を強化し、柔軟な施策展開を図るとともに、必要に応じて既存の行政手法や組織を見直し、次世代へ引き継ぐための持続可能な行政経営を行います。</p>	<p>第2章 まちづくりの推進</p> <p>2 行政経営の基本方針</p> <p>(1) 持続可能な社会を支える行政経営</p> <p>人口減少・少子高齢化の進行、社会保障費の増加、公共施設の老朽化、厳しい財政状況、多発化する自然災害など、これまでの様々なシステムの持続可能性を大きく揺るがす変化が本市を取り巻いています。こうした環境変化に伴って<u>多様化・複雑化</u>する社会ニーズに対応するため、分野間の連携を強化し、柔軟な施策展開を図るとともに、必要に応じて既存の行政手法や組織を見直し、次世代へ引き継ぐための持続可能な<u>社会を支える</u>行政経営を行います。</p>